

あさひ園は、このような教育・保育をします

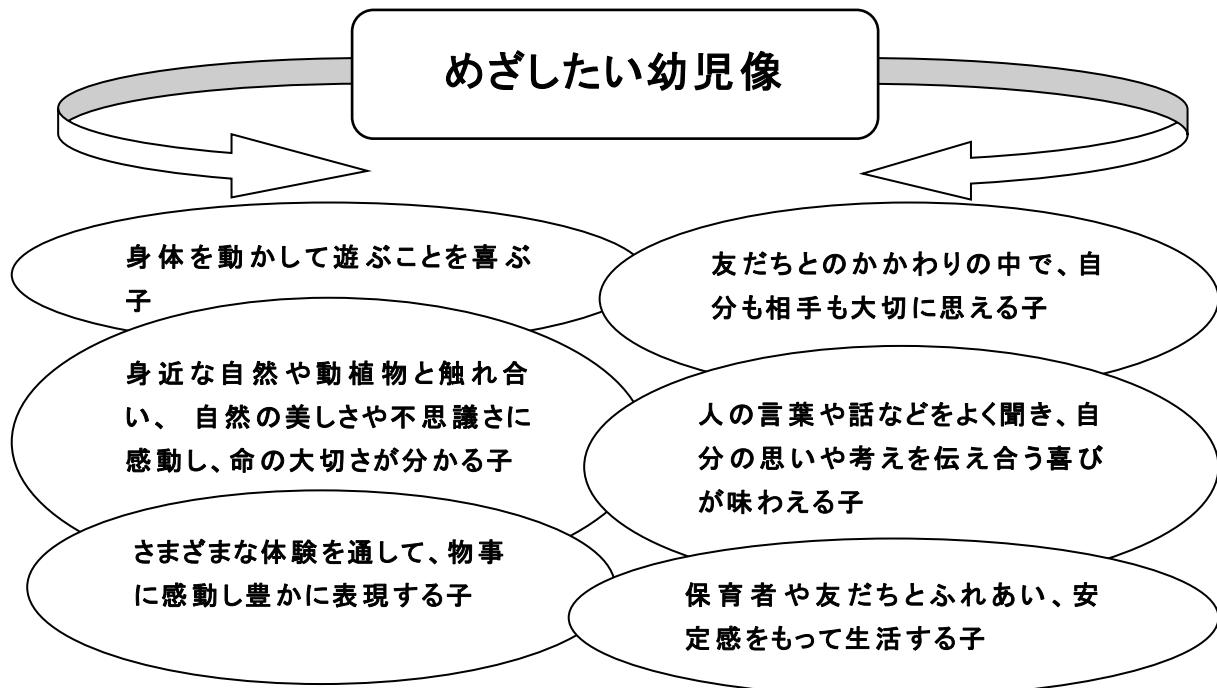
「幼保一体化施設 あさひ園」では、同じ就学前の子どもである幼稚園児と保育園児を同一の施設で保育し、幼稚園、保育園の互いの良い面を取り入れ、子どもたちの発達を踏まえた就学前教育を進めています。

教育、保育内容においては、幼稚園教育要領と保育所保育指針を踏まえた上で、『生きる力』の基礎を培う「心情・意欲・態度」等を大切にしています。なかでもあさひ園では子どもたち一人一人の活動を理解し、遊びを中心としたプログラムで運営しています。どの年齢においても遊びは、子どもにとって主体的な活動であり、遊びには人として成長していくためのあらゆる要素が含まれています。安定した環境の中でのびのびと遊ぶこと、異年齢児とのかかわりや身近な自然との触れ合いなどが十分経験できるようにし、友だちと遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。また、善いことや悪いことの区別、人への思いやりや社会的ルールを育てるなど心の教育を行っています。

子どもが自ら気付き、考えることを大切にしながら、集団生活を通して道徳性の芽生えを培うように指導していきます。そして、幼児期にふさわしい生活を創り、具体的な体験を通して、心と体の調和のとれた子どもを育てていきます。

園 の 目 標

豊かな心情をもち、自ら考え方行動しようとする力を育てる



<異年齢・多世代・地域の交流について>

- (1) 子どもたちが、互いに思いやりの心がもてるよう交流を進めています。
- (2) 小学生、中学生との交流や地域の方との交流を通して、豊かさや優しさを育てています。